

1998年センター報告・日誌

* 「メンガー文庫マイクロフィルム化・目録改訂・保存事業」について

目録改訂

学術情報センターへの書誌情報の入力は98年度はラテン語、古ドイツ語文献等で99年3月末には19,000冊を越える見込みである。

保存事業

昨年に引き続き、劣化調査結果に基づいての各冊への個別的な保存処置を継続して行っている。経費は、運営費と如水会の援助金からなり、専門家による外注作業と、センター内保存修復工房での作業を並行して行っている。

* フランクリン文庫保存事業

98年度より、フランクリン文庫に対する保存事業を開始した。今年は劣化調査を行うと同時に優先度の高い資料（ベラム資料、劣化の激しい資料など）から随時保存処置を行っている。経費は古文庫保存修理経費（校費）で、専門家による外注作業と、センター内保存修復工房での作業を並行して行っている。

* 第18回西洋社会科学古典資料講習会

下記の内容で、10月13日（火）から16日（金）まで4日間開催し、全国の国公立大学図書館等から29名が参加した。

古典研究

（総論） 経済思想上のマルサス『人口論』	羽 鳥 卓 也	岡山大学名誉教授
（各論1） パチョーリと世界最初の複式簿記文献	片 岡 泰 彦	大東文化大学教授
（各論2） メンガー『原理』成立史研究とメンガー文庫	池 田 幸 弘	慶應義塾大学 助教授

書誌学

（1） 西洋書誌学概説－西洋古版本を中心に	雪 嶋 宏 一	早稲田大学図書館 司書
（2） 今世紀初頭の金属活字改良運動と書物	片 塩 二 朗	朗文堂・組版工学 研究会主宰
（3） 西洋の書籍版画の技法と歴史	佐 川 美智子	町田市立国際版画 美術館学芸員
（4） 書物の社会史とその批判	森 村 敏 己	一橋大学助教授

保存・修復

（1） 資料保存における歴史的製本の課題	岡 本 幸 治	製本家
（2） 紙資料の保存と修復	鈴 木 英 治	有限会社CAT

古典資料センター見学（書庫・保存修復工房）

情報交換会・座談会

* 『水田洋マイクロフィルムコレクション』について

水田洋氏（名古屋大学経済学部名誉教授）から御寄贈頂きましたアダム・スミス関係を中心としたマイクロフィルム93リールの仮整理が終わりました。御希望の方は当センター内で利用できます。

日誌

1998年1月～12月

- 3月31日 一橋大学社会科学古典資料センター年報 第18号 発行
Study series No.39：藤田幸一郎『オルデンブルグの共有地分割と農地開発』
発行
Study series No.40：田中ひかる「アナーキストの未来社会論争——1884年～
1886年——自由社会論をめぐって—— 発行
- 5月20日 第50回社会科学古典資料センター運営委員会
議題：1. 平成9年度事業報告について 2. 平成9年度決算報告について
3. 平成10年度事業計画について 4. 平成11年度概算要求について
- 7月23日 社会科学古典資料センター主催講演会
演題：マルサス『人口論』について 講師：橋本比登志氏（京都産業大学教授）
- 10月13日～16日 第18回西洋社会科学古典資料講習会開催
- 12月1日 石 弘光センター長学長就任につき安藤英義商学部教授（附属図書館長）セン
ター長に就任
- 12月18日 社会科学古典資料センター主催講演会
演題：誤解された大経済学者たち 講師：根岸隆氏（青山学院大学教授）

利用状況（1998年1月～12月）

開館日数	230日
利用者	261人
（学内	66人）
（学外	195人）
利用冊数	1,337冊
複写冊数	22冊